

用語解説

※掲載する用語や説明についてはパブリックコメントでのご意見を踏まえ見直しを行う予定です。

用語集

用語	説明
イノベーション	新たな技術や発想を組み合わせることにより、社会に新しい価値を生み出すこと。
温室効果ガス	地球温暖化を引き起こす温室効果を有するガスの総称で、地球温暖化対策の推進に関する法律で二酸化炭素(CO ₂)、メタン(CH ₄)、一酸化二窒素(N ₂ O)、ハイドロフルオロカーボン類(HFC _s)、パーフルオロカーボン類(PFC _s)、六フッ化硫黄(SF ₆)、三フッ化窒素(NF ₃)の7種類が温室効果ガスとして定義されています。
カーボンニュートラル	人の活動に伴って発生する温室効果ガスの排出量と、(吸収作用の保全及び強化により)吸収される温室効果ガスの吸収量との均衡を保つこと。
カーボンリサイクル	CO ₂ を資源としてとらえ、分離・回収してさまざまな製品や燃料に再利用することで、CO ₂ の排出を抑制すること。
環境首都グランド・デザイン	2004年度に、世界の環境首都の創造に向け、市民、NPO、企業など様々な立場の人々からいただいた1,000件を超える意見、提案をもとに取りまとめられた北九州市の環境行動指針。
気候変動	産業活動など的人為的な行為により、自然界(平均気温の上昇や海面水位の変化)や社会生活(大雨の被害や農作物の品質低下)に大きな影響を及ぼすもの。
グリーンスチール	電炉への転換や使用するコークスを減少させる手法などにより、製造時のCO ₂ 排出量を従来の鉄鋼より大幅に削減した鉄鋼のこと。

用語集

用語	説明
グリーン成長	地球温暖化への対応を経済成長の機会と捉え、産業構造や社会構造を変革し、「環境と経済の好循環」を作っていく産業政策のこと。
再生可能エネルギー	太陽光、風力、水力、地熱、バイオマスなどの自然の力を利用して作るエネルギーのこと。
サプライチェーン	資材の調達から最終消費者に届けるまでの資材や部品の調達・生産・販売・物流といった業務の流れを、1つの大きな供給の鎖(チェーン)としてとらえたもの。
次世代自動車	窒素酸化物(NO _x)や粒子状物質(PM)等の大気汚染物質の排出が少ない、または全く排出しない、燃費性能が優れているなどの環境にやさしい自動車のこと。
循環経済(サーキュラーエコノミー)	従来のごみの減量化や再資源化の取組に加え、資源投入量・消費量を抑えつつ、ストックを有効活用しながら、サービス化等を通じて付加価値を生み出す経済活動であり、資源・製品の価値の最大化、資源消費の最小化、廃棄物の発生抑制等を図って循環型社会の形成を目指す経済のありかた。
生物多様性	自然生態系を構成する動物、植物、微生物など地球上の豊かな生物種の多様性とその遺伝子の多様性、そして地域ごとの様々な生態系の多様性をも意味する包括的な概念のこと。
ゼロカーボンシティ	2050年までに脱炭素社会の実現(温室効果ガスの排出を全体としてゼロとすること)を目指すことを表明した地方公共団体のこと。

109

用語集

用語	説明
ブルーカーボン	沿岸・海洋生態系が光合成によりCO ₂ を取り込み、その後海底や深海に蓄積される炭素のこと。主要な吸収源としては、藻場(海草・海藻)や塩性湿地・干潟、マングローブ林などがある。
メタネーション	水素(H ₂)と二酸化炭素(CO ₂)を反応させ、天然ガスの主な成分であるメタン(CH ₄)を合成する技術のこと。

110

用語集

用語	説明
BEMS	Building and Energy Management Systemの略。ITを利用して業務用ビルの照明や空調などを制御し、最適なエネルギー管理を行うシステムのこと。
BRT	Bus Rapid Transitの略。走行空間、車両、運行管理等に様々な工夫を施すことにより、速達性、定時性、輸送力について、従来のバスよりも高度な性能を発揮し、他の交通機関との接続性を高めるなど利用者に高い利便性を提供する次世代のバスシステムのこと。
COP	国連気候変動枠組条約締約国会議(Conference of the Parties)の略。全ての条約締約国が参加し、条約の実施に関するレビューや各種決定を行う。
CO ₂ 排出係数	単位あたりの活動量(電力の場合は1kWhの使用)に対して、どれだけの二酸化炭素を排出するかを数値化したもの。
GHG	Green House Gasの略。意味は、「温室効果ガス」のこと。
GX	Green Transformationの略。化石エネルギーを中心とした現在の産業構造・社会構造を、クリーンエネルギー中心へ転換する取組のこと。日本政府は、GXを通じて、脱炭素、エネルギー安定供給、経済成長の3つを同時に実現させることを目指している。
HEMS	Home Energy Management Systemの略。家庭でのエネルギー使用状況を、専用のモニターやパソコン、スマートフォン等に表示することにより、家庭における快適性や省エネルギーを支援するシステムのこと。

111

用語集

用語	説明
IPCC	気候変動に関する政府間パネル(Intergovernmental Panel on Climate Change)の略。世界気象機関(WMO)及び国連環境計画(UNEP)により1988年に設立。気候変動に関連する科学的、技術的及び社会・経済的情報の評価を行い、報告書を作成、公表する。
MaaS	Mobility as a Serviceの略。地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービスのこと。
VPP	Virtual Power Plantの略。地域に分散する複数の分散型エネルギーリソース(太陽光発電、蓄電池、電気自動車など)をIT技術によって統合・制御し、あたかもひとつの発電所のように機能させる仕組みのこと。

112